

経歴書
小波秀雄

略歴

- 生年月日： 1951 年 3 月 5 日
- 東北大学理学部化学第二学科入学 1969 年
- 東北大学理学研究科化学第二専攻進学 1976 年
- 同上修了 1979 年
- CAP 予備校、および東北文理予備校勤務 1979 年 – 1985 年
- 東北大学理学研究科博士課程後期進学 1985 年
- 同上退学 1987 年 3 月
- 東北大学反応化学研究所・助手 1987 年 4 月–1997 年 3 月
- 東北大学反応化学研究所・助教授 1997 年 4 月 – 1998 年 3 月
- 国立宮城工業高等専門学校・教授 1998 年 4 月 – 2000 年 3 月
- 京都女子大学現代社会学部・教授 2000 年 4 月–現在に至る

主要な研究、教育歴

- 博士学位論文 希土類フタロシアニンサンドイッチ型錯体の物理化学的性質に関する研究
理学博士、東北大学：1990 年
- 1976 年–1979 年：非イオン性高分子水溶液中におけるポリマーと塩類のイオンの相互作用の研究に従事。主要論文は以下の通り（他、プロシーディングス、邦文論文等数本）
 - Conductometric studies of ion binding to poly(oxyethylene) in methanol
Katsumichi. Ono, Hideo. Konami, Kenkichi. Murakami
J. Phys. Chem., 1979, 83 (20), pp. 2665–2669
- 1985 年–2004 年：汎用の無機系色素であるフタロシアニン類の合成、分光学的研究、コンピュータシミュレーションを含む理論的研究に従事、論文多数のため一部のみ示す。
 - Electronic Spectra of Benzo-Substituted Phthalocyanines

Hideo Konamia, Yoshihito Ikeda1, Masahiro Hatanoa and Katsura
Mochizuki

Mol. Phys. 1993,80(1),pp. 153-160

- Synthesis, Spectroscopy, and Molecular Orbital Calculations of Subazaporphyrins, Subphthalocyanines, Subnaphthalocyanines, and Compounds Derived Therefrom by Ring Expansion

N. Kobayashi, T. Ishizaki, K. Ishii, and H. Konami

J. Am. Chem. Soc. 1999, 121, pp. 9096-9110

- 「分子軌道法の基礎と色素分子への応用」

小波秀雄

「色材・顔料・色素の設計と開発」情報機構, 2008, pp.49-70

- 1979年-1987年：予備校講師として化学を担当 (86,87年は非常勤講師)
- 1987年-1998年：東北大学理学部教官として、大学院生の指導、博士学位論文作成の支援
- 1998年-2000年：国立宮城工業高等専門学校にて一般化学、無機化学の教育に従事
- 2000年-201年：京都女子大学現代社会学部教授として、環境・自然科学、統計学、情報教育（プログラミング、データ処理等）に従事
- 2005年-2006年：東京書籍、中学理科教科書の編集委員として、「新しい科学1分野」、「新しい科学2分野」を分担執筆
- 2012年4月-2014年3月：大学入試センターの委嘱により、センター入試の問題（物理分野）作成を担当

以上の事実に間違いありません。

2016年2月29日

京都女子大学現代社会学部教授 小波秀雄

